

ロサンゼルス補習授業校

ロサンゼルス補習授業校は、通称「あさひ学園」と呼ばれ、まもなく創立50周年を迎えます。市内の4つの借用校で、それぞれ300～400名の子どもが学んでいます。

子どもたちは、月～金は現地の公立学校で学び、土曜だけ補習授業校に通います。ここでは、日本の検定教科書を使い、日本の学校と同じ進度で学習をしますので、5日分を1日で学習する感じです。宿題も1週間分出ますので、子どもたちにとって、現地校と両立させるのにかなりの努力が必要です。

「家庭は第2の教室」が合言葉。学校は、保護者の全面的な協力に支えられています。

私は、サンタモニカ校を担当。火曜から金曜まで、事務局で準備や打ち合わせをし、土曜は片側6車線のフリーウェイをドキドキしながら運転し学校に行きます。授業日の主な業務は、全教室の授業を参観し、適切なアドバイスをすること。研修をしたり、先生方の相談にも乗ったりします。また子どもたちのトラブルや突発的な出来事にも対応しますので、帰宅するとぐったりです。現役時代の教頭先生の仕事に似ています。日本の学校での経験はあまり役に立ちません。日々、新たな課題に直面しています。



運動会での全員ラジオ体操